

アドミッションポリシー（求める学生像）

国際学部

国際学科

国際学科では、本学科のディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーに共感、賛同する以下のような人材を受け入れます。入学選抜にあたっては志願者の長所、可能性に着目することを旨とし、厳正に実施します。

【求める学生像】

1. 基礎的・基本的な知識・技能
 - (1) 高等学校までに学んだ教科・科目について、教科書レベルの基本的な知識・技能を身につけている。
 - (2) 特に様々な言語文化を学ぶうえでのベースとなる国語・英語、国際社会や異文化への理解を深めるために必要な地歴・公民については、教科内容の十分な理解と基礎学力を有する。
2. 思考力・判断力・表現力等
 - (1) 学んだ知識を活用して、課題を解決するために論理的に思考し、その結果を表現することができる。
3. 主体的に学習に取り組む態度
 - (1) 日本を含む世界の言語・文化・社会に強い興味を持ち、前向きに学ぶという意欲を有する。
 - (2) 言語・文化・国籍などの違いを互いに認め合い尊重する多文化共生社会の実現に強い動機を持つ。

スポーツ健康学部

スポーツ健康学科

スポーツ健康学科では、本学科のディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーに共感、賛同する以下のような人材を求めます。

【求める学生像】

1. 基礎的・基本的な知識・技能
 - (1) 高等学校までに学んだ各教科等の基礎的な知識・技能を身につけていること。
2. 思考力・判断力・表現力
 - (1) 学んだ知識を活用して、課題を解決するために論理的に思考し、その結果を表現することができること。
3. 主体的に学習に取り組む態度
 - (1) 集団あるいは個人での身体活動の楽しさを体得し、スポーツ活動を実践できること。
 - (2) 「スポーツで人々を幸せに」するために、体育、スポーツ、健康に関する知識や技能を他者のために発揮しようとする。

なお、編入学試験では、健康、運動、体育、スポーツに関する基礎的な知識・技能を有するとともに、短期大学や大学等で学んだことをさらに深く、運動やスポーツを通して社会に貢献しようとする者を対象とします。

経営学部

経営学科

経営学科では、株式会社をはじめとする営利企業、地方自治体や政府関連機関、公益法人などの非営利組織体など幅広い組織体で活躍できる人材の育成を目標としています。経営学科では、本学科のディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーに共感、賛同する以下のような人材を受け入れます。

【求める学生像】

1. 基礎的・基本的な知識・技能
 - (1) 高等学校までに学んだ教科・科目について、基本的な知識・技能を身につけている。
2. 思考力・判断力・表現力等
 - (1) 学んだ知識の論点を整理し、その知識を活用して、組織活動においてコミュニケーションを図ることができる。
3. 主体的に学習に取り組む態度

以下のような意欲のある人を求めます。

 - (入学前) (1) 明確な目的意識を持ち、主体的に勉学や他者との協働に取り組むことができる人。
 - (入学後) (2) 経営活動で必要とされる専門知識を主体的、継続的に学び、それらを高めていく意識を持つ人。
 - (3) 身につけた知識・能力を他者との協働の場で提供し、他者とそれらを相互に高めあうことができる人。
 - (4) 自らの考えや意見を他者に論理的に伝える方法を自ら改善していく努力ができる人。

商学科

商学科では、本学科のディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーに共感、賛同する以下のような人材を受け入れます。入学選抜にあたっては志願者の長所、可能性に着目することを旨とし、厳正に実施します。

【求める学生像】

1. 基礎的・基本的な知識・技能
 - (1) 高等学校までに学んだ教科・科目について、基本的な知識・技能を身につけている人。
2. 思考力・判断力・表現力等
 - (1) 学んだ知識を活用して、課題を解決するために論理的に思考し、その結果を表現することができる人。
3. 主体的に学習に取り組む態度
 - (1) 「ヒト・モノ・カネ・情報」の流通する仕組みに関心を持ち、それを熟く学びたいという強い意識を持っている人。
 - (2) 資格・検定の取得を目標の一つとし、そこで身につけた技能を活かすことができる職業に就くことを希望している人。

経済学部

経済学科・国際経済学科

経済学部は、変動する経済社会に対応できる人材を教育することを目標として、「経済学科」と「国際経済学科」から構成されており、両学科とも、経済社会の様々な変化に迅速に対応するとともに、経済社会の課題を解決しようとする意欲を持った学生を募集しています。このため、経済学部では両学科一括で学生募集を行い、2年間で修得した経済学の基礎的知識と学生自身の興味関心に基づいて、各自が所属する学科を決定します。そこで、経済学部では、経済学部、経済学科・国際経済学科のディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーに基づいて、下記のような資質を持つ人の入学を募っています。

【求める学生像】

1. 基礎的・基本的な知識・技能について
 - (1) 日本語の基本的な読む・書く・聞く・話す能力。
 - (2) 外国語の基本的な読む・書く・聞く・話す能力。
 - (3) 地理歴史公民分野の基礎知識。
 - (4) 科学技術についての基礎知識。
2. 知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等について
 - (1) 人との基本的なコミュニケーションができる。
 - (2) 日本語の基本的な論理的思考力。
 - (3) 異文化理解への関心。
 - (4) 日本や世界の社会・文化・時事問題への興味・関心。
3. 主体的に学習に取り組む態度について
 - (1) 現代社会の動きや日本経済、ビジネスに関心を持っていて、21世紀の社会がこれからどんな方向に進んでいくのか、きちんと学びたい学生。
 - (2) 将来の進路についてはっきりした意志を持ち、グローバルな視野を持ちたい学生。
 - (3) 主体的に物事に取り組み、自らの知識や経験を発展させる意欲がある学生。

上記のような資質と関心を持った学生を求めるために、経済学部では、AO入試、推薦入試、一般入試、大学入学共通テスト利用入試などを設け、上記の資質と関心について学力だけに偏らない多面的な評価を行って学生を募集します。

■デザイン工学部

情報システム学科

情報システム学科では本学科のディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーに共感・賛同する以下のような人を受け入れます。入学選抜にあたっては、志願者の長所、可能性に着目することを旨とし、厳正に実施します。

【求める学生像】

- (1) 「人に優しいシステム」の考え方に賛同する人。
- (2) 情報コンテンツの設計・製作に興味のある人または情報コンテナ(コンテンツを取り扱う情報システム)設計・製作に興味のある人。
- (3) 情報システム技術に深い興味を持ち、能動的に修得する勉学意欲を持つ人。
- (4) 情報倫理観を備え、情報システムを人道的かつ平和的に使用する人。
- (5) 修得した技術・能力を社会貢献に役立てられる人。
- (6) 情報システム技術を学ぶための基礎的学力を有する人。
- (7) 情報システム技術を発展させるための論理的思考力を有する人。

建築・環境デザイン学科

建築・環境デザイン学科では、本学科のディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーに共感・賛同する以下のような人材を受け入れます。入学選抜にあたっては志願者の長所、可能性に着目することを旨とし、厳正に実施します。

【求める学生像】

- (1) 幅広い学びの分野、デザイン分野から自分にあった分野を見出すことのできる自主性を持っている。
- (2) 創造力・表現力・知識・感性を豊かにすることに対して積極的に取り組む姿勢がある。
- (3) 社会や環境に対して問題意識を持ち、あらゆる事柄に対する興味・好奇心を抱くことができる。

環境理工学科

環境理工学科では、理学と工学に立脚した学問分野に興味を持ち、その分野の柔軟な思考力、高い専門性および技術を用いて社会に貢献する人材を育成するため、つぎのような学生を求めます。

【求める学生像】

1. 基礎的・基本的な知識・技能
 - (1) 高等学校までに学んだ教科・科目について、教科書レベルの基本的な知識・技能を身につけている。
2. サイエンスとテクノロジーに対する高い興味と柔軟な思考力
 - (1) 地球規模から地域レベルの身近な暮らしまで、様々な環境問題に高い関心を有している。
 - (2) 環境に関する様々な課題に向き合い、自然科学の探求および環境保全に意欲を有している。
3. 主体的に課題にとりくむ態度と社会性
 - (1) フィールド(地域)で実践的に行動し、環境問題を解決することによる社会貢献を目指している。

■工学部

機械工学科

機械工学科では、自然環境と人間社会との健全かつ調和を持った社会を構築する技術を担う人材を育成するために次のような学生を求めます。

【求める学生像】

- (1) ものづくりを通じて社会に貢献したいと強く望む人。
- (2) 科学技術に興味を持ち、本学科のカリキュラムを学習するための基礎的学力を備えている人。
- (3) 国籍、性別、能力にとらわれず相互のコミュニケーションについて努力ができる人。
- (4) 人間の幸福に寄与できる技術に興味を持ち、専門的に学びたい人。
- (5) 自主的に問題を見つけて解決できる能力を向上させたい人。

交通機械工学科

交通機械工学科では、機械工学の基礎科目、交通システムに関連する応用科目、ものづくり等への応用となる実験・実習科目を総合的にバランスよく学ぶことができます。その教育に当たり、本学科のディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーに共感・賛同する以下のような人材を受け入れます。入学選抜に当たっては志願者の長所、可能性に着目することを旨として実施します。

【求める学生像】

- (1) 高等学校において学んだ教科・科目について、本学科の専門科目を学習するうえでの基本的な知識・技能を身につけている人。
- (2) 交通技術が社会や自然におよぼす影響や効果を理解し、交通に関わるツールやシステムに強い興味を示し、自らものづくりに積極的に取り組む意欲がある人。
- (3) 学業を通じた自らの伸展・成長に喜びを感じるとともに、社会や自身を取り巻く様々な疑問や未解明のことに興味を持ち、知識や経験を継続的に発展させ、論理的に考察する意欲のある人。
- (4) 自らの考えを的確に伝えるための、様々な種類の文書理解や作成やコミュニケーションの基礎となる表現力を身につけている人。
- (5) 言語・文化・国籍などの違いを互いに認め合い尊重する多文化共生社会の実現に共感し協力できる人。

都市創造工学科

学位プログラム「都市創造工学」では、都市再生と未来の都市創造において活躍することのできる技術者を育成することを目指しています。具体的には、都市基盤整備の計画から建設、維持管理に至る一連の過程について幅広い知見と基礎的技術、自然災害や少子高齢化、地球環境問題など都市の直面する様々な問題とその技術的解決策についての基本的知識、都市基盤整備と都市問題解決に関連する基本的な情報処理技術の基礎技術を有するような技術者を養成します。そこで、本プログラムでは次のような人々を求めます。

【求める学生像】

- (1) 道路、鉄道、空港、橋梁など都市基盤整備の計画から建設、維持管理に至る一連の過程に興味がある人。
- (2) 自然災害や少子高齢化、地球環境問題など都市の直面する様々な問題とその技術的解決について興味がある人。
- (3) 情報処理技術に興味があり、それを都市基盤整備と都市問題解決への活用しようとする人。
- (4) 本学科のカリキュラムを学習するための基礎的学力を備えている人。

本学科では、自然科学の基礎や情報処理基礎を学習した後、それを専門分野の学習に応用する。そのために数学や物理など自然科学などを中心に幅広い基礎的学力を身につけていることが望まれる。さらに、編入学、転入学する人には以下の要件が追加されます。

- (5) 入学までに学習した専門分野の内容を、本学科の教育プログラムの学習に活かすことができる人。

電気電子情報工学科

電気電子情報工学科は、電気電子工学分野と電子情報工学分野の基本をしっかりと身につけた技術者の育成を行い、現代社会を支える科学技術をリードする電気電子および電子情報工学のエキスパートの育成を目指しています。そのため、以下のような学生を求めます。

【求める学生像】

- (1) 工学の基礎となる数学、理科の素養を有している人。
- (2) 電気回路や電子回路に興味がある人。
- (3) 電力・エネルギー分野について興味のある人。
- (4) コンピュータや情報について興味がある人。
- (5) 新しいものやシステムを作りたいと考えている人。
- (6) 社会に役立つ技術者になりたいと考えている人。

【高校までに習得すべき学力水準】

電気電子情報工学科への入学時には、以下の内容を理解していることを望みます。工学の基礎科目として、高校までの数学、物理、化学の基本的内容が必要です。レポート作成のためには、内容を的確に表現し説明するための文章力や読解力が必要です。さらに、技術文書を読むために英語の基礎的語彙、文法知識なども必要となります。